

## 主な検査の意味

赤穂市民病院 平成22年2月

### 【生化学検査】

	検査項目		検査の説明
	当院の表示	名称	
炎症	CRP	C反応性蛋白	代表的な炎症マーカーです。感染症や膠原病、外傷などの診断や経過観察に必要な検査です。
肝機能	総ビリル	総ビリルビン	肝疾患の診断、黄疸の鑑別などに必要な検査です。
	AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	代表的な肝機能の指標です。肝障害のほか骨格筋、心筋障害でも高値となります。
	ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	代表的な肝機能の指標です。肝障害のとき高値となります。
	ALP	アルカリフォスファターゼ	肝・胆道系疾患、骨疾患のとき高値となります。
	Cho-E	コリンエステラーゼ	肝実質の蛋白合成能を反映しています。肝疾患で低値になりますが、脂肪肝では高値となります。
	LD(LDH)	乳酸脱水素酵素	心臓や肝臓の疾患、貧血や炎症などで高値となります。
	γ-GT	ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ	肝・胆道系疾患のとき高値となります。とくにアルコール性肝障害などで高値となります。
	LAP	ロイシンアミノペプチダーゼ	肝・胆道系疾患のとき高値となります。
筋	CK(CPK)	クレアチンフォスホキナーゼ	骨格筋、心筋、脳などに存在する酵素です。これらの部位の損傷で高値となります。
膵	S-AMY	血清アミラーゼ	膵臓や唾液腺から分泌される酵素です。膵疾患や唾液腺疾患などで高値となります。
脂質	T-CHO	総コレステロール	血液中のコレステロールの総量を調べる検査です。高値では動脈硬化症の危険因子となります。
	TG	中性脂肪	血液中の中性脂肪の量を調べる検査です。高値では動脈硬化症の危険因子となります。食事の影響を大きく受け、食後に高値となります。
	HDL-C	HDLコレステロール	一般的には善玉コレステロールと言われています。低値では動脈硬化症の危険因子となります。
	LDL-C	LDLコレステロール	一般的には悪玉コレステロールと言われています。高値では動脈硬化症の危険因子となります。
腎機能	ナトリウム	ナトリウム	これらの項目は水分の代謝異常や体液のバランスを調べる検査です。腎不全などで低値となり、脱水や下痢などで高値となります。
	クロール	クロール	
	カリウム	カリウム	神経・筋の興奮に関与しています。腎不全などの排泄障害では高値となり、下痢や嘔吐があると低値となります。
	カルシウム	カルシウム	骨代謝や筋収縮、血液凝固に関与しています。腎臓や骨、副甲状腺の疾患などで変動します。
	BUN	尿素窒素	
	UA	尿酸	これらの項目は代表的な腎機能の指標です。腎機能の低下、腎不全などで高値となります。尿酸は高値で痛風の危険因子となります。
	血中CRE	クレアチニン	
糖尿病	血糖	血糖	糖尿病を診断するための基本的な検査です。食事の影響を大きく受け、食後に上昇します。
	HbA1c	ヘモグロビンA1c	糖尿病の診断と経過観察に必要な検査です。過去1～2ヶ月間の平均血糖値を反映します。
	GA	グリコアルブミン	糖尿病の診断と経過観察に必要な検査です。過去1～2週間の平均血糖値を反映します。
蛋白	TP	総蛋白	これらの項目は栄養状態および肝・腎機能を評価するために必要な検査です。
	Alb	アルブミン	
貧血	Fe	鉄	
	TIBC	総鉄結合能	鉄は赤血球中のヘモグロビンを構成する成分の一つです。これらの項目は貧血症を診断するために必要な検査です。
	フェリチン	フェリチン	

## 【血液学検査】

検査項目		検査の説明
当院の表示	名称	
WBC	白血球数	血液中の血球成分の一つで、細菌や異物などを排除する生体防御に関与しています。炎症性疾患や血液疾患などで増減します。
RBC	赤血球数	赤血球は血液中の血球成分の一つで、全身に酸素を運搬する働きがあります。これらの項目は様々な貧血で減少し、多血症では増加します。
HGB	ヘモグロビン	
HCT	ヘマトクリット	
MCV	平均赤血球容積	
MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	これらの項目は赤血球の大きさ、赤血球中に含まれるヘモグロビンの量や濃度を調べる検査です。鉄欠乏性貧血などの貧血症の種類を鑑別するために必要な検査です。
MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	
PLT	血小板数	血液中の血球成分の一つで、出血を止める働きがあります。様々な血液疾患で変動します。
NEUT	好中球	細菌などの異物を貪食、殺菌処理して生体防御に関与します。一般に細菌感染症や炎症などで増加します。
LYMP	リンパ球	生体に進入した異物を直接攻撃したり、免疫機能によって排除します。一般にウイルス感染症やリンパ球性の血液疾患などで増加します。
MONO	単球	殺菌作用、血球や異物の処理、免疫反応など多くの機能があり、様々な疾患で増減します。
EOS	好酸球	主にアレルギー性疾患で増加します。
BASO	好塩基球	

## 【血清学検査】

検査項目		検査の説明
当院の表示	名称	
PSA	前立腺特異抗原	前立腺癌の早期発見のための検査です。値が高いからといって癌と確定されるわけではありません。
HBS 抗原	B型肝炎ウイルス表面抗原	B型肝炎ウイルスの検査です。感染しているとき陽性となります。
HCV 抗体	C型肝炎ウイルス抗体	C型肝炎ウイルスの感染経歴を調べる検査です。感染または感染歴があるとき陽性となります。
RPR定性	梅毒脂質抗原試験	これらの項目は梅毒の感染の経歴を調べる検査です。感染状態により結果は異なります。
TPLA定性	梅毒トレポネーマ抗原試験	
TSH	甲状腺刺激ホルモン	これらの項目は代表的な甲状腺の検査です。甲状腺機能異常があると値が変動します。
FT3	遊離トリヨードサイロニン	
FT4	遊離サイロキシン	

## 【凝固検査】

検査項目		検査の説明
当院の表示	名称	
PT	プロトロンビン時間	これらの項目は血液凝固異常の代表的な検査です。出血傾向や肝機能、抗凝固療法の効果をみるための検査です。
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	
D-ダイマ	D-ダイマー	血液凝固線溶異常、血栓症などで高値となります。

基準値とは健康人95%の人が範囲に入るように決められた数値です。施設により若干基準値は異なります。検査を受けて基準値の範囲をはずれたものが即疾患につながるわけではありません。正常、異常の判断は診察の結果を踏まえて医師が判断しますので詳細は主治医にお尋ねください。